



# 南小だより

楡引南小学校

令和6年5月29日



## 爽やかな5月でした！

5月は爽やかな五月晴れの日が多く、体育や校外学習など外で行う活動が気持ちよく行うことができました。休み時間は子ども達の元気な遊び声がグラウンドや体育館に響き渡っています。各学年の畑や田んぼの農園活動も始まりました。先日は、同窓会副会長の鈴木聡さん、リンゴ学習の遠藤正之さんに学校の畑に堆肥と肥料を入れ、耕耘していただきました。心から感謝申し上げます。

来週から6月に入り、運動会やプール開き、4・5年生の林間学校などがありますが、梅雨入りも間近となります。ちょっとジメジメした天候になると思われますので、子ども達の健康面や衛生面に十分配慮しながら学校生活を支援してまいります。ご家庭の方でも、汗ふきタオルやハンカチを持たせてくださるよう、お願いいたします。



さつまいもの苗植え（1年生）

### 心をこめた清掃活動

「楡引南小学校の校舎って立派だなやの～」という声をいろんなところで耳にします。南小の校舎が立派なのは、ただ単に立派に建設されたからだけではないと感じています。それは、子どもたち1人1人が昼の清掃で、気持ちをこめて一生懸命に掃除しているからいつもきれいで立派な校舎であり続けられるのだと思います。この心のこもった清掃が今後も南小のよき伝統として引き継がれることを願っております。



トイレの掃除です！

### 書写の学習、今年もよろしくお祈りします

今年度も3～6年生は佐藤嘉男先生に教えていただきます。書の達人である嘉男先生にどんな技術を教えてもらえるのか楽しみです。



三年生の最初の授業。先生が自己紹介で黒板に大きく水で書いた「佐藤嘉男」があまりに見事で、「すごい！」という声があがりました。

### 子どもが育つ魔法の言葉

ドロシー・ロー・ノルトの著書『子どもが育つ魔法の言葉』（1998年刊・アメリカ）は、世界中で多くの共感を呼び、ミリオンセラーとなりました。その中に掲載されていた詩「子は親の鏡」の一部を紹介します。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは、「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子供に公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ



